



AIツールを使った業務効率化、ウェブ会社はこう活用している。

「AIって本当に仕事で役に立つの？」——そう思っていますか？

私たちウェブ制作会社でも、この1～2年でAIツールの使い方が大きく変わりました。

今回は、AIツールを現場で使ってみた活用例をわかりやすくご紹介いたします。

まず正直にお伝えすると、AIを使ったからといって仕事がすべて自動になるわけではありません。

私たちが感じている一番の変化は、「時間のかかる作業」が確実に減り、その分だけ「考える時間」が増えた、ということです。

実際に使っている3つのシーン

1 文章の下書き

提案書・メール・お知らせ文など、AIに構成と下書きを作らせてから人間が仕上げる分業スタイル。作業時間が半分以下になることも。

2 情報収集・整理

競合調査や業界トレンドの把握など、以前は数時間かかっていた調査業務が大幅に短縮。要点を絞った要約も瞬時に行える。

3 開発・制作の補助

コーディングの補助や簡単なプログラム作成もAIが担当。エンジニアが、本来の設計・判断業務に集中できるようになった。

経営者にとっての本質的なメリット

AIの最大の価値は「コスト削減」よりも、少ない人数でより多くのことができる、つまり「一人あたりの生産性が上がる」点にあります。人手不足が続く中小企業にとって、これは非常に現実的なメリットです。

営業リストの作成、SNS投稿の文案、社内マニュアルの整備——こうした「後回しにしがちな仕事」をAIと分担することで、本来の業務に時間を使えるよ

うになります。

注意点（任せていいこと・ダメなこと）

◎任せてOK

定型文・下書き・情報収集・要約・アイデア出し

などはAIに任せてもOKです。

取引先との信頼構築ができる文章なのか、方向性が間違っていないか、などの最終的な判断は必ず行うようにしてください。

×注意が必要

社外秘・個人情報をもそのまま入力しない。

AIは「考えてくれる道具」ではなく、「作業を速くしてくれる道具」です。判断と責任は、引き続き人間が担いましょう。

はじめてのAI活用セミナー、好評開催中

「AIに興味はあるけど、何から始めればいいのかわからない」という方のために、少人数制の無料セミナーを定期開催しています。

難しい専門知識は一切不要。実際の画面を見ながらすぐに使えるコツをお伝えします。

参加費：無料

定員：少人数制（毎回平均3名ほど）

対象：AIをほとんど使ったことがない方、経営者・スタッフの方

形式：対話形式で進めるので、わからないことをその場で質問できます。

「話を聞いてみたい」という段階でも大歓迎です。まずはお気軽にご連絡ください。

お電話は **0256-33-5085** 木村まで！

